学校番号	1206

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	マルチメディア技術実習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・画像･音声･映像などをどのように組み合わせれば、相手に「わかりやすく」かつ「効果的」に自分の想いや考えを伝えるかを議論する活動を行います。
・音響機器や情報機器の特性を理解し、最も効果的な活用方法を見いだすまであきらめず取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
音響ソフトと映像編集ソフトの技術と知識を養い、作品を編集する技術を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
自分の考えている内容を相手に理解させるために、画像･音声･映像などの最も効果的な
　組み合わせについて考える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
実際に自分の作品を録音･編集する過程での問題等について調べる力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・音響機器、情報機器の取扱いは適切だったか。 ・音響ソフトの機能を理解し、作品を制作する力を養う。 ・映像編集ソフトの機能を理解し、作品を編集する力を養う。	・これまでの授業で学んだ知識を適切に反映させ、表現することができる。 ・写真、映像とBGMが効果的に組み合わせを考察し判断できている。 ・発声やアクセント等を適切に表現できている。	・マルチメディアに関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を養う。 ・最後まで、作品として仕上げ、評価･改善する態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	各種機材の使い	・各種カメラについて ・編集用ソフトプレミアプロについて	a:授業を進めるにあたり必要な機材の使用方法を理解できる。 b:シーンに応じて、様々なカメラアングル、シャッターチャンスを考え、表現できる。 c:プレミアプロの活用ができる。	授業プリント提出	定期考査 ファイル提出	ファイル提出
	サウンドスケープ制作	・サウンドスケープとは ・ストーリーの構築方法 ・企画書作成 ・タイムラインの検討 ・撮影・録音・編集	a:万人が聞き取りやすい発声をしているか、適切なアクセントで発音をしているかなどを研究させる。 b： 写真から読み取れる「情景」とBGMが持つ「感情」を適切に選択し表現することができる。 c ：自ら進んで作品を完成させようとしている。		企画書 タイムライン 作品ファイル提出	ファイル提出 撮影・録音・編集
後期	サウンドスケープ制作	・サウンドスケープとは ・ストーリーの構築方法 ・企画書作成 ・タイムラインの検討 ・撮影・録音・編集	a:万人が聞き取りやすい発声をしているか、適切なアクセントで発音をしているかなどを研究させる。 b： 写真から読み取れる「情景」とBGMが持つ「感情」を適切に選択し表現することができる。 c ：自ら進んで作品を完成させようとしている。		企画書 タイムライン 作品ファイル提出	ファイル提出 撮影・録音・編集

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度